



# 第一回 クオリティ製品分科会

2008.10.29

**QAW/QNDを本当に使えていますか？**  
～『ユーザ様の実運用ノウハウ』  
からピックアップ～



## コンテンツ

1. QAW/QNDサーバ負荷を軽減する
2. ソフトウェアインベントリ収集方法
3. QAW/QNDサンプルタスク19本
4. インベントリ収集率UPの運用方法
5. ソフトウェア台帳作成のフロー
6. RCコンソール複数起動について

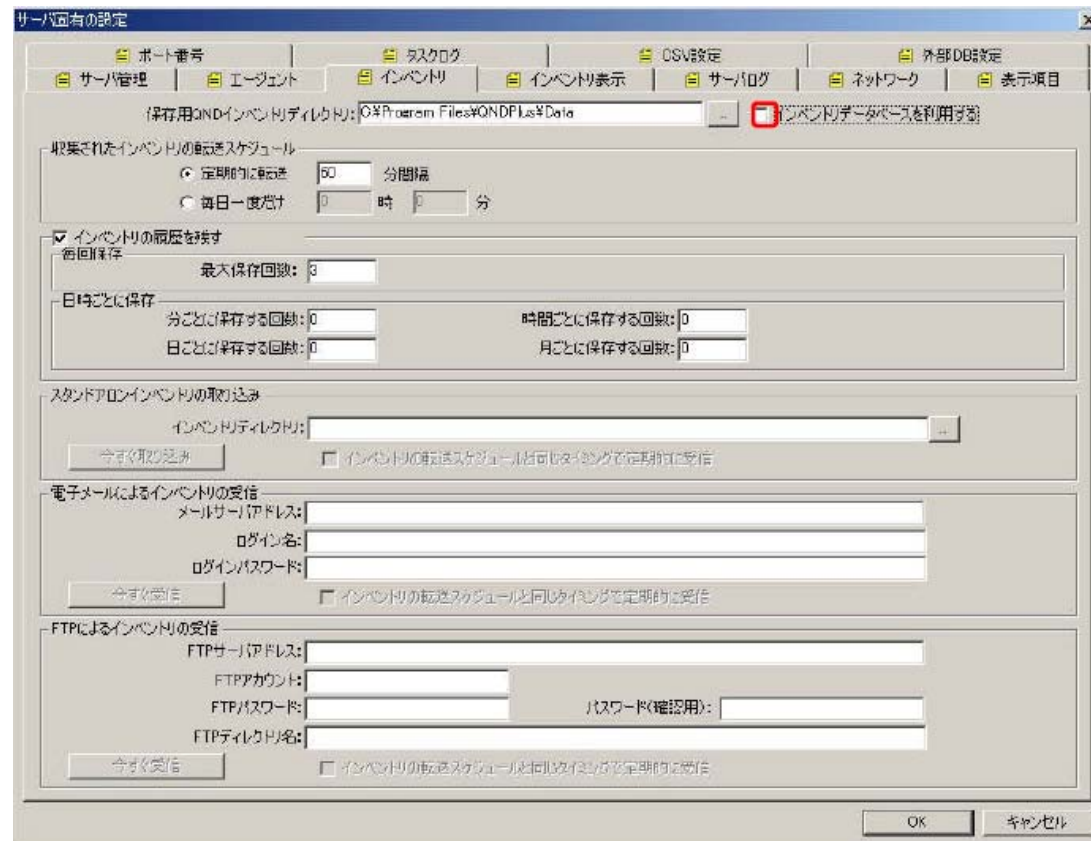


[http://www.quality.co.jp/solution/knowhow\\_qnd.html](http://www.quality.co.jp/solution/knowhow_qnd.html)

# その1 QAW/QNDサーバ負荷を軽減する(1/4)



必要の無い場合はODBC機能のチェックを外す

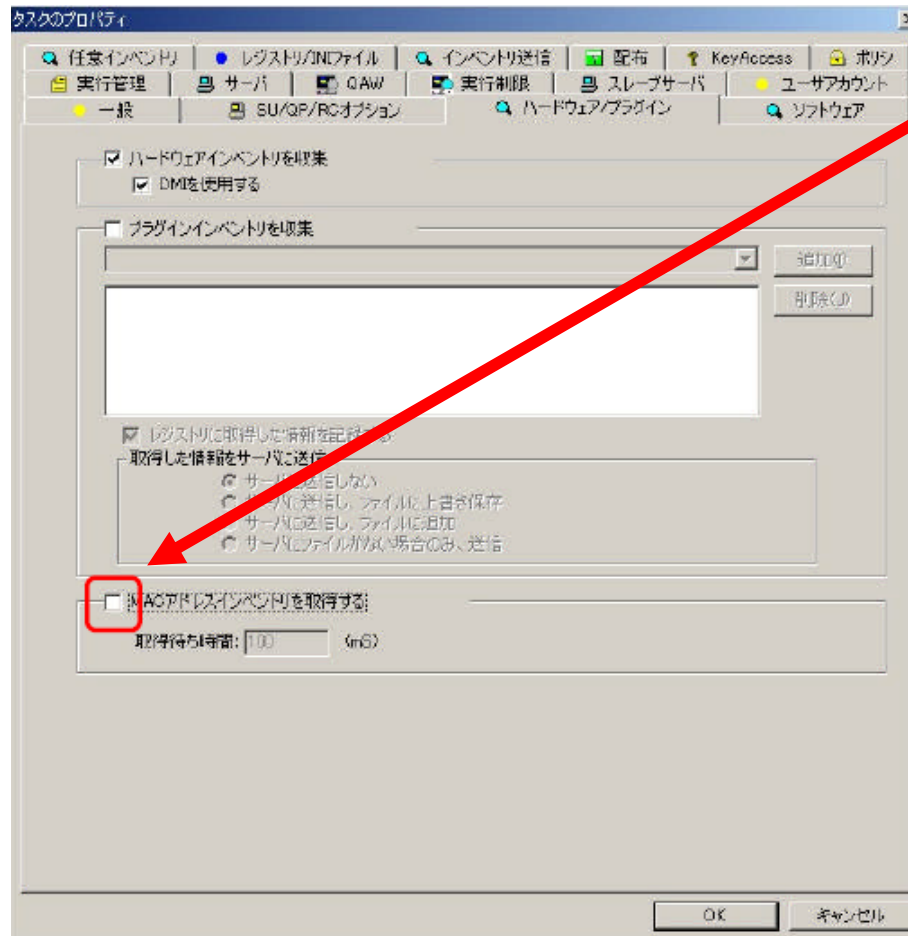


インベントリデータベース機能はODBCドライバに対応するための機能であり他のDB製品と連携する必要がない場合は、設定をOFFにすることでサーバの負荷を軽減することができます。

# その1 QAW/QNDサーバ負荷を軽減する(2/4)



MACアドレスインベントリは未知のPCを検索する機能です



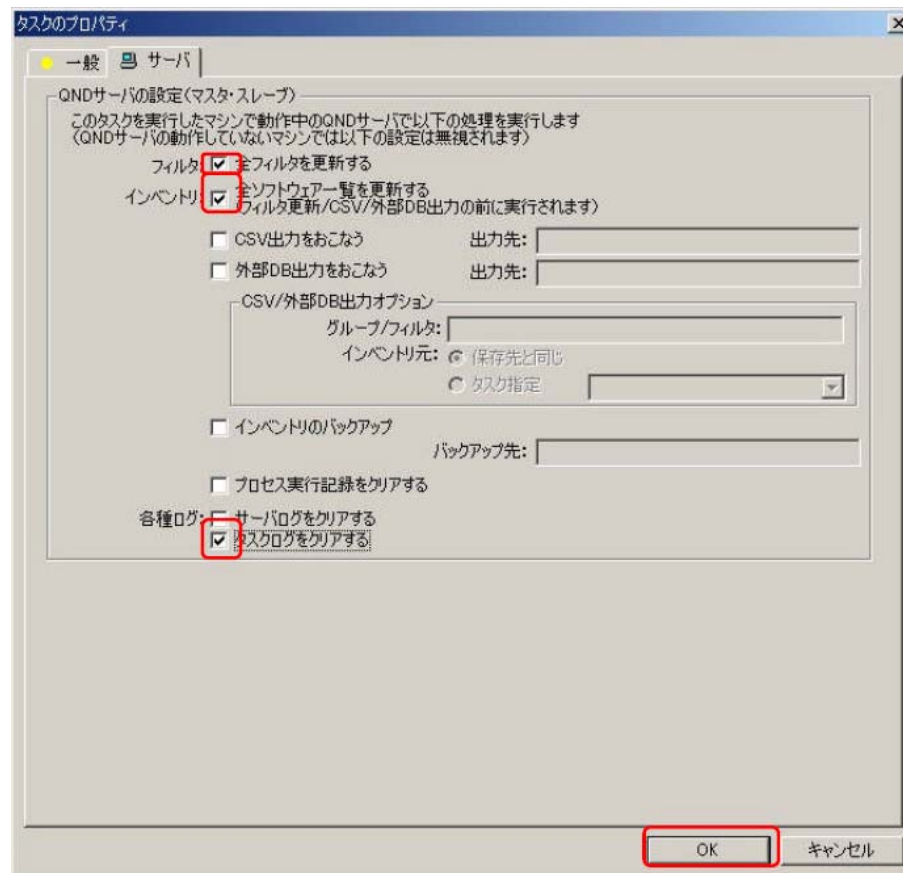
- ・必要の無い場合はチェックを外す
- ・必要な場合は、セグメントに1～数台とする

MACアドレスインベントリはタスクを実行するホストが存在するセグメントに対してブロードキャストでIPアドレスとMACアドレス情報を収集する機能です。定期実行するタスクに誤って設定を行うと、ネットワーク負荷、サーバ負荷が掛かります。

# その1 QAW/QNDサーバ負荷を軽減する(3/4)



サーバタスクを使おう！ スケジュールで夜間実行



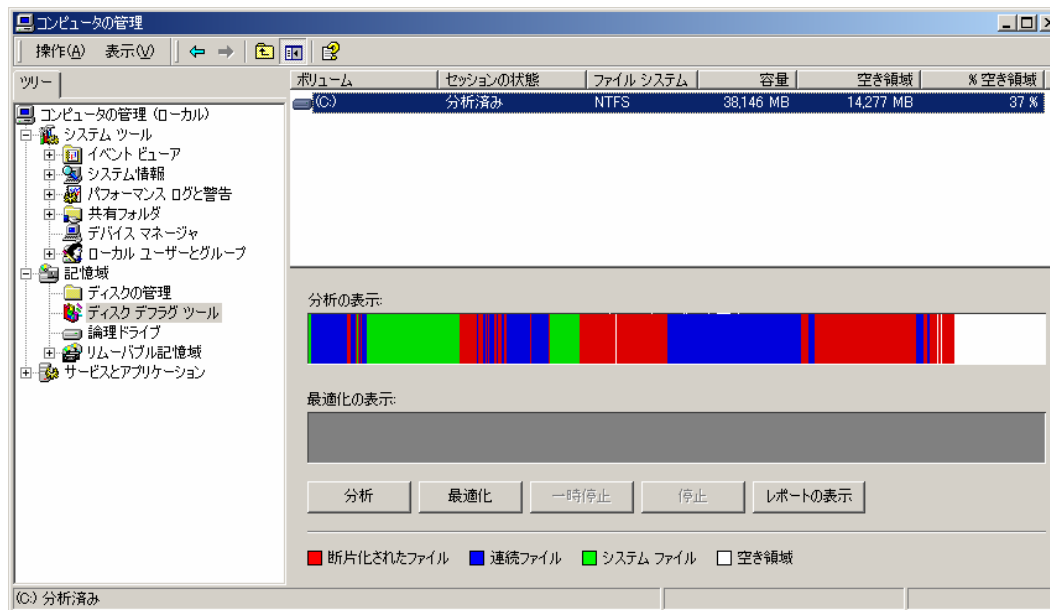
- ・フィルタ更新の自動化
- ・ソフトウェア一覧更新の自動化
- ・タスクログやサーバログのクリア

サーバタスクはサーバ処理において時間（負荷）がかかる機能を自動化するタスクです。夜間など通常処理が行われない時間帯にスケジュール設定いただきご利用いただくことで日常のコンソール操作における負荷を軽減することができます。

# その1 QAW/QNDサーバ負荷を軽減する(4/4)



サーバが重いと感じた場合は、まず断片化を疑う  
QAW/QNDはファイル断片化が発生しやすい仕組み



QNDでは収集したインベントリファイルやホスト情報などをこのファイルとして管理しています。よって運用を長く続けることでHDD上でのファイルの断片化が発生します。ファイルの断片化が発生するとファイルへのアクセス時間が増加しQNDの動作にも影響を受けコンソール操作が遅く感じたり、CSV出力に時間が掛かることとなります。定期的にディスクの最適化を行うことをお奨めします。

# その2 ソフトウェアインベントリ収集方法1/2



ソフトウェアインベントリの収集時間に不満を感じたら

タスクのプロパティ

任意インベントリ | レジストリ/INIファイル | インベントリ送信 | 配布 | Key Access | ポリシ

実行管理 | サーバ | QAW | 実行制限 | スレブサーバ | ユーザアカウント

一般 | SU/QP/RCオプション | ハードウェア/プラグイン | ソフトウェア

ソフトウェアインベントリを収集

収集するレベルの選択:

高速収集: 収集される内容は限定されますが、高速に処理が終了します

全情報収集: ディスクのスキャンが伴うため収集時間がかかります

カスタマイズ: 以下のチェックボックスから収集内容を選択します

OS関連情報の収集

OS情報の収集  IE/MS情報の収集

アプリケーションの追加と削除情報の収集

場所を指定して収集 [  EXEファイルだけを収集 ]

レジストリに登録されているソフトウェア収集

WIN.INIファイルに登録されているソフトウェアを収集

スタートメニューから取得  デスクトップから取得

特定ソフトウェアの収集

MSOfficeの情報を取得  Notesの情報を取得

MSOffice95/97情報を収集  Notesの実行ファイル情報を収集

独自に収集するファイル一覧:

ファイル名

追加(A) | インポート(I) | 削除(D) | プロパティ(P)

OK | キャンセル

「アプリケーションの追加と削除」だけでは、ソフトウェアインベントリとしては不十分な場合が多い

タスクのプロパティ

任意インベントリ | レジストリ/INIファイル | インベントリ送信 | 配布 | Key Access | ポリシ

実行管理 | サーバ | QAW | 実行制限 | スレブサーバ | ユーザアカウント

一般 | SU/QP/RCオプション | ハードウェア/プラグイン | ソフトウェア

ソフトウェアインベントリを収集

収集するレベルの選択:

高速収集: 収集される内容は限定されますが、高速に処理が終了します

全情報収集: ディスクのスキャンが伴うため収集時間がかかります

カスタマイズ: 以下のチェックボックスから収集内容を選択します

OS関連情報の収集

OS情報の収集  IE/MS情報の収集

アプリケーションの追加と削除情報の収集

場所を指定して収集 [  EXEファイルだけを収集 ]

レジストリに登録されているソフトウェア収集

WIN.INIファイルに登録されているソフトウェアを収集

スタートメニューから取得  デスクトップから取得

特定ソフトウェアの収集

MSOfficeの情報を取得  Notesの情報を取得

MSOffice95/97情報を収集  Notesの実行ファイル情報を収集

独自に収集するファイル一覧:

ファイル名

追加(A) | インポート(I) | 削除(D) | プロパティ(P)

OK | キャンセル

「EXEファイルだけを収集」のチェックが抜けている = EXEファイル以外のソフトウェアも収集する

## その2 ソフトウェアインベントリ収集方法2/2



### お勧め運用: カスタマイズ収集

- EXEファイルのみ収集のチェックを付けています。

- レジストリに登録されているソフトウェア(メインソフト)にチェック

- 必要に応じて、「スタートメニュー」や「デスクトップ」のチェックを入れます。

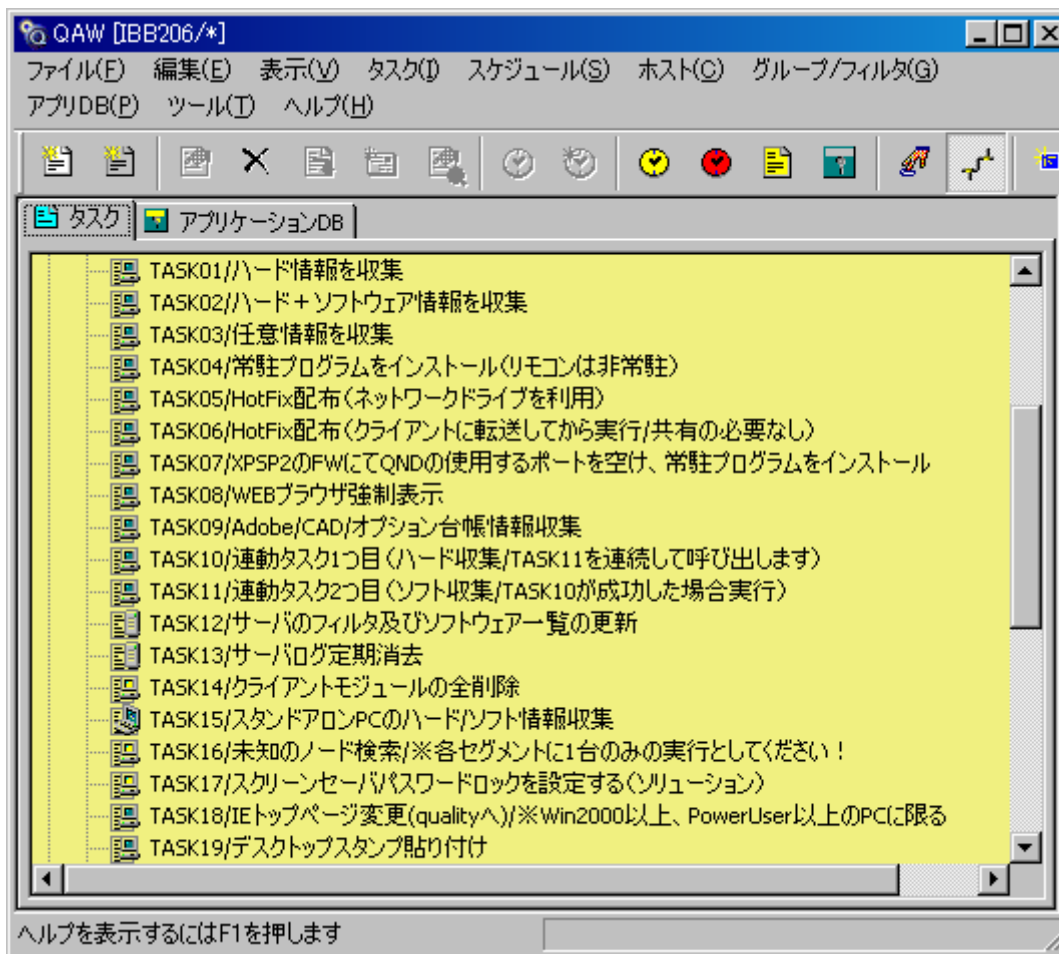
「ABC.exe」等の記述をすると、HDDを全検索します。

- 極力「スタートメニュー」「デスクトップ」で取るか
- パス指定をする(環境変数可)

等を使用し、時間を掛けないようにしましょう。



## その3 QAW/QNDサンプルタスク19本



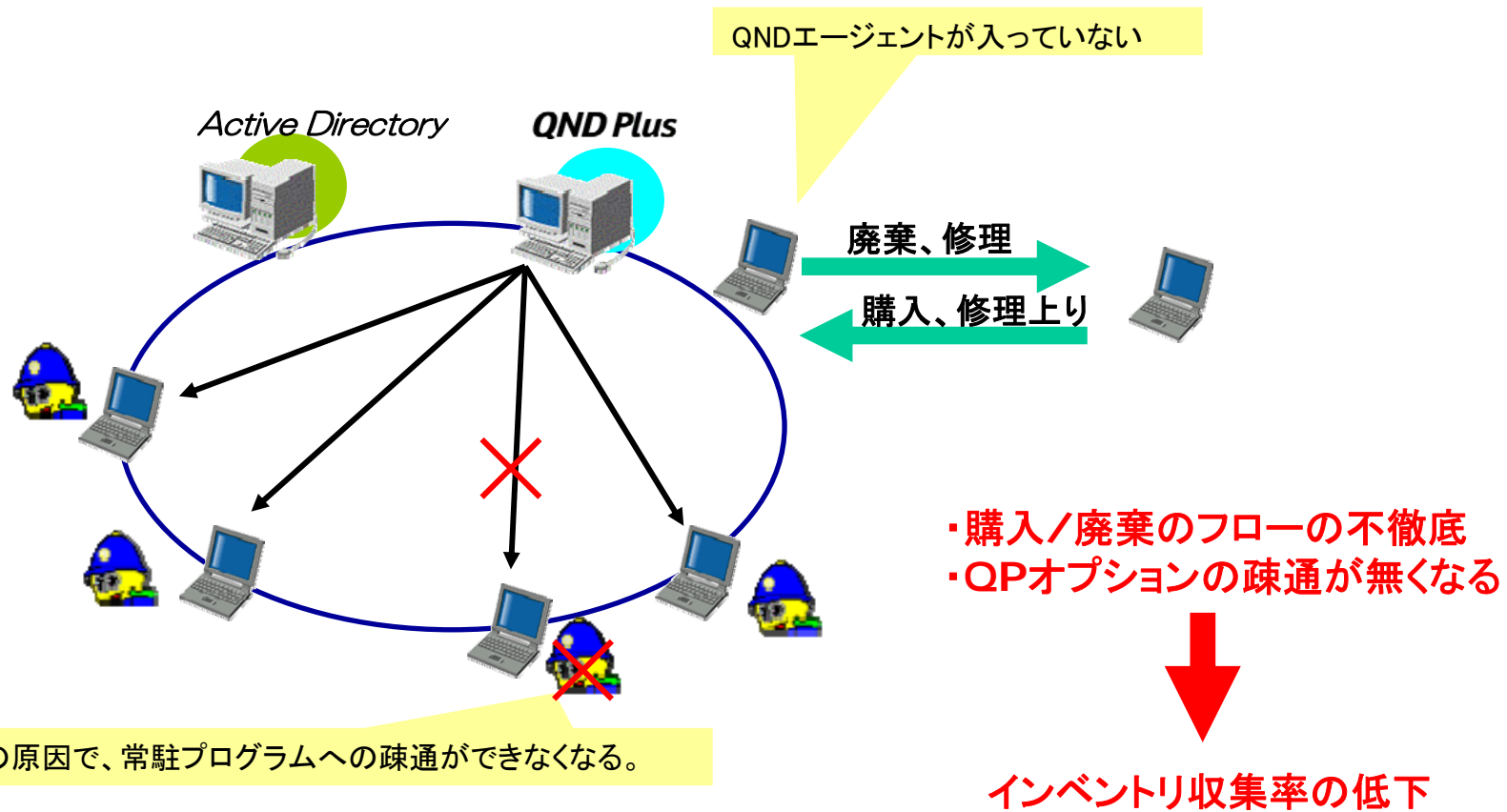
- ・タスク(命令文)はインポートできます。

- ・タスクはコピーできます。

- ・基本タスクを含む19個のタスクを公開します。

やりたいこと=タスクの基本セットをご提供します。カスタマイズしてご使用下さい。

# その4 インベントリ収集率UPの運用方法



# その4 インベントリ収集率UPの運用方法



## 購入・廃棄管理の問題点への対策

集中購買管理の場合での、PCを新規に配布する際や、修理上がりの際の対応での対策としては？

必ず管理者側でPC所有者に渡す前にQNDエージェントを実行の上、配布を行う。

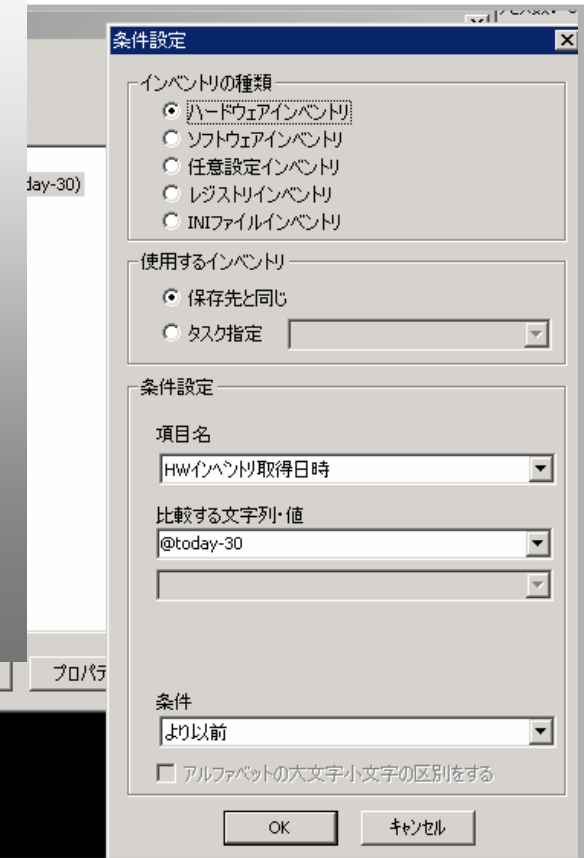
集中購買管理ではない場合での、PCを新規に配布する際や、修理上がりの際の対応での対策としては？

NetSkipperやMACアドレスインベントリ、eX IPDを使用し、QNDエージェントがインストールされていないPCを検索し、QNDエージェントをインストールするためのルーチンを作成する。

PCを廃棄する場合の対策は？

QNDコンソールから消しこみを行うルールを作る。  
30日以上（若しくは60日や120日）インベントリが収集されていないフィルタを作成し、定期的にクライアントPCをチェックする（フィルタ：ハードウェアインベントリ日時「@today-30」等）

**購入・廃棄のルールを作ることが一番重要です！**



## その4 インベントリ収集率UPの運用方法



### サーバ → クライアント疎通管理の問題点への対策

ログオンスクリプトが利用できる環境での対策は？

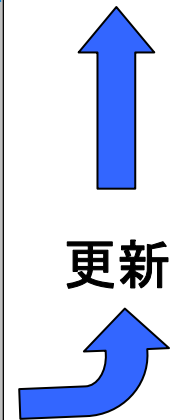
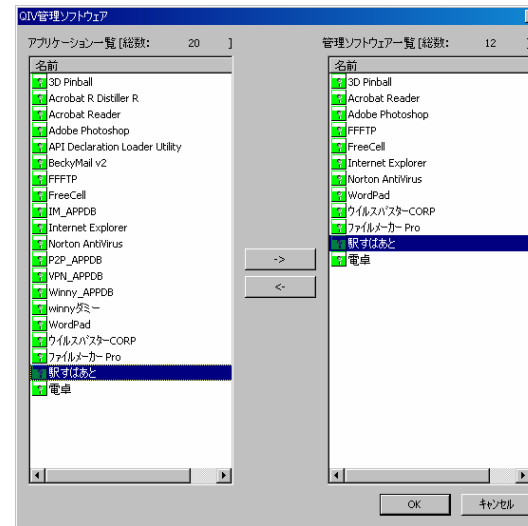
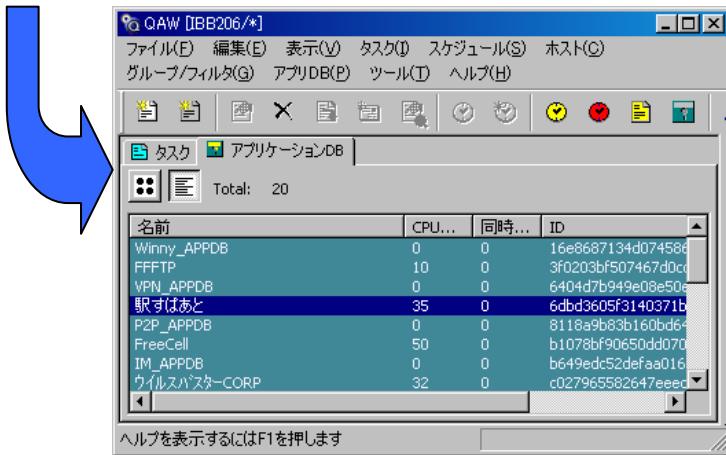
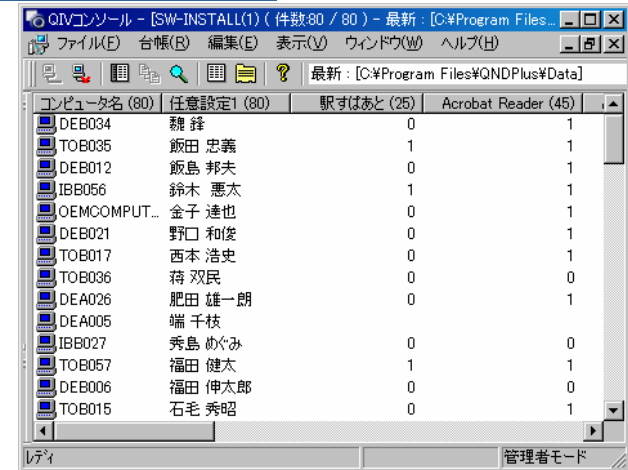
クライアントにQNDのファイルが無ければQNDエージェント(常駐プログラム)をインストールするためのQNDエージェントを実行をさせるログオンスクリプトを用意。QND9.3(QAW3.3)とそれ以前でもファイル構成が違う為、疎通の取れなくなったクライアントPCのバージョンアップにも有効

ログオンスクリプトが利用できない環境での対策は？

NetSkipperやMACアドレスインベントリ、eX IPDを使用し、QNDエージェントがインストールされていないPCを検索し、QNDエージェントをインストールするためのルーチンを作成する。特に、集中購買でなくログオンスクリプトも利用できない環境の場合には、QNDエージェントのインストールが行われていないクライアントが発生する可能性が高い。そのような場合には、eX IPD(NW接続探査ツール)があるとネットワーク上のPCを探検し検知することができるので便利です。

**Active Directoryを有効利用**

# その5 ソフトウェア台帳作成のフロー

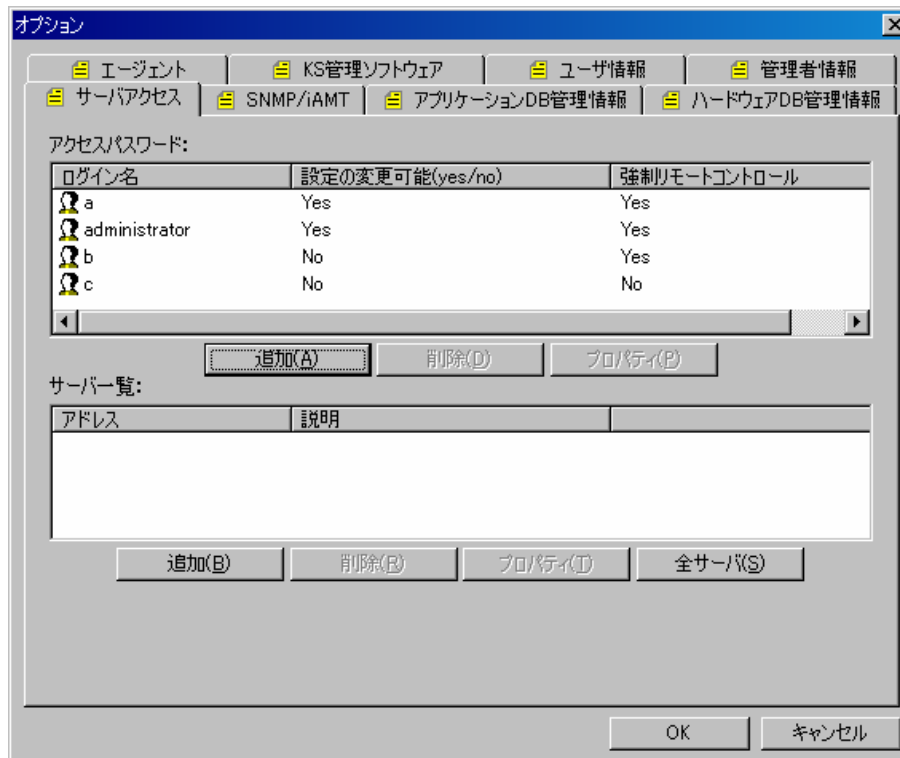


「アプリケーションの追加と削除」の台帳だけではなく  
指定したアプリケーションの台帳を作成する方法を公開

## その6 RCコンソール複数起動について



特に、導入した後で効果を発揮するリモートコントロール  
RCコンソールが同時に複数起動できると知らないユーザ意外に多い



「ツール」-「オプション」-「サーバアクセス」

にて、オペレーター用のアカウントを作成

RCコンソールはQNDコンソールとは異なり  
複数のコンソールを同時に使用することが  
可能です。社内のヘルプデスクなど用途で  
有効にご利用ください。